

# なぜnameは「ナメ」じゃなくて「ネイム」なの?

音と綴りの関係性を学ぶのが「フォニックス」。フォニックスのルールの中に、マジック e と呼ばれる発音規則があります。このマジック e は、語末の e を発音しない「サイレント e」(Silent e) の一種であり、かつ、直前の母音の発音を変える役割があります。

例えば：  
Name は「ナメ」ではなく、「ネイム」  
Take は「タケ」ではなく、「テイク」  
Make は「メケ」ではなく、「メイク」

私が中学生の頃、ローマ字読みがしっかり身についており(涙)、長母音が入っている単語を覚えるのにとても苦労しました。当時はマジック e なんていう発音規則の存在すら知らなかったし、英単語のつづりのいい加減さには悩まされました。knight (騎士)とか、doubt とか、音を聞かなければ絶対正しく発音できない単語も多く、英語の先生からも「英語はそういうものだから、とりあえず暗記しておきなさい」の一言・・・英語の発音と綴りの不一致問題に対して、不満や憤りを感じられた方は多いのではないのでしょうか？ 少なくとも私はそうでした。また、この事がきっかけで英語嫌いになってしまった人も少なくないと思います。

英語は多様な歴史を文化と社会背景を背負い、それぞれの場所や時代によって進化してきました。この綴りと発音の不一致問題は、15世紀に起こったある二つの出来事によってもたらされたものだそうです。

実は昔は音と綴りは同じでした。ローマ字のように、綴りをそのまま読めば OK だったのです。例えば Name は「ナーム」、stone は「ストーン」、と普通に読めば初めての単後でも読めたのです。時代や流行、社会の変化で発音が変わっても、それに合わせて綴りも変化していきました。

ところが 15 世紀に「大母音推移」という歴史的な現象が起きました。これは「母音の読み方が大きく変わった現象」で、なぜそれが起きたのかは今だに不明だそうです。  
Name 「ナーム」→「ネイム」  
Stone 「ストーン」→「-ストーン」

そして偶然にも、この発音の劇的な変化と同時期に「印刷技術」が発明されました。印刷できる事は文字が活字になること。つまり、「綴りが固定化されてしまう」という事を意味します。それまでは発音の変化に合わせて綴りも変えていきましたが、それが気軽にできなくなってしまったのです。印刷技術で綴りが固定されたのに、大母音推移によって発音はどんどん変わってしまい、これが原因で綴りと読み方に大きなギャップが生まれ、現在にいたるそうです。

英語は学習が進むにつれ「例外」が増し、「なぜ」の気持ちが生まれてきます。無意味なもの丸暗記としか思えなかったものに、歴史的に見ると論理的整合性が存在すると知ること、英語への不自信感(？)が晴れ、理不尽な英語を少しは可愛く思えるかもしれません。

# 最新情報・お知らせ

●<<重要>>翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●《工事のお知らせ》5月13日~6月10日、南ウッディタウン駅前校があるビルの塗装工事が行われます。音や匂いなどでご不便をおかけするかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

●クラス写真の撮影を5月より行います。待合室に掲示しますので御覧ください。

●小学生英語暗唱大会「BAIKA CUP」  
今年も梅花中学校主催の英語暗唱大会が開催されます。  
対象：小学5年生と6年生の女の子。  
開催日：7月6日(土)  
申し込み締め切り：6月14日(金)必着

●フェイスブックをコミュニケーションツールとして活用しています。ぜひ「いいね！」で登録して下さい！いろいろな情報を発信していきたいと思っています。  
<https://www.facebook.com/ark.academy.sanda>

●<<5月&6月の振替日>>7月以降は振替ページをご参照下さい。  
<https://airrsv.net/arkacademy/calendar>

スーパーキッズ	5月18日(土) 6月15日(土)
キッズ①&①+	5月25日(土) 6月22日(土)
キッズ②&②+	5月21日(火) 6月18日(火)
キッズ③&③+&キッズ④	5月28日(火) 6月25日(火)
バイリンガル/中学生	5月11日(土) 6月1日(土)

## ARK ACADEMY

アークアカデミー英会話教室

三田市あかしあ台4-8-1  
Tel / Fax : 079-563-3132

Email: [info.ark.academy@gmail.com](mailto:info.ark.academy@gmail.com)

ホームページ「アークアカデミー英会話教室」で検索

フェイスブック: [www.facebook.com/ark.academy.sanda](http://www.facebook.com/ark.academy.sanda)



# アークアカデミー通信

News Letter May 2019

Vol.104



## ★Contents★

- はじめに■
- 英検対策講座のお知らせ■今月の誕生日
- ご家庭での英語サポート■最新情報・お知らせ
- なぜnameは「ナメ」じゃなくて「ネイム」なの■

### はじめに

In the beginning was the Word ~John 1:1  
初めに言葉があった。ヨハネ1章1節

「英語は通じればいい」「英語は単なるコミュニケーションのツール」なんていう言葉を最近よく聞くようになりました。その言葉の背後には多分「間違ってもいいからとりあえず使ってみよう」「完璧じゃなくてもいい」という励ましの意味があるとは思いますが、「通じればいい」というメンタリティーを促すのは少し違うような気がします。言葉というものの本質は、情報を伝達するだけのものだけではなく、それを発している人間の世界観やら人間観を背負っているもの。そのため、母語や外国語に関わらず、ささやかな言葉の一つ一つに、それを発する人間の世界観や人間観が反映されるように思います。「通じればいい」といのは、別の言葉で表すと、自分さえよければ相手の気持ちなど関係ない、ということ。こういう価値観では、相手を尊敬し、自分とは違う多様性を受け入れ理解しようとする態度はなかなか生まれにくいのでしょうか？

昔日本には「言霊」という言葉があり、「言葉には霊が宿っている」と考えられていたそうですが、言葉は相手を励まし奮い立たせる事ができると同時に、傷つける事もできてしまいます。英語(言葉)が単なる情報の伝達というツールだけなら、AIの方がよっぽどかしく活躍してくれる時代になってきています。でも、言葉はそれを発した人、そのものであり、命が宿った言葉は人の心の中で生き続けていくように思うので、できるだけ正しく正確に、そして大切に育んでいきたいものです

# ご家庭での英語サポート

英語が発話できるまでに必要なインプット量は 2000 時間だといわれています。週に 1 時間だけの英語学習では、どんなに高い教材を使っても、どんなに高い授業料を払っても、残念ながらコミュニケーションをとれるだけの英語は身に付きません。このインプット量を増やすためには、家庭環境が大きく影響してきます。ではどのように、自宅でも英語が学習できる環境を作ることができるのでしょうか？

幼稚園児や小学生の自宅学習の鍵は「親御さん」です。「うちの子はモチベーションが低くて教科書も見ません」「家ではちっとも英語をしゃべってくれません」等たまに保護者の方からご相談を受けますが、そもそも生活の中で英語をしゃべる必要性を感じていない子供達が「さあ、今日も英語を頑張ろう！英語をいっぱいしゃべろう」なんて思わないものです。大手英会話教室さんのコマースのように、子供が勝手に外国人に話しかけ、道案内をする、なんていう場面を想像されていた保護の方もいらっしゃるかもしれませんが、あれはちょっと現実離れしすぎているな…とも思います。

家庭学習で大切なのは「親御さんの立ち位置」。親子が家庭内で英語学習に対する「習慣」を共有する事がとっても大切になってきます。なぜかという英語学習の決め手は「質」よりも、「量」と「頻度」だからです。何度も口を動かし、何度も音を聞き、何度も書く。くぐくぐくぐくぐに「反復・繰り返し」が重要な科目です。日本人が英語が話せない、苦手意識があるのは、圧倒的に「量」「頻度」が足りていないからです。この「量」を確保するためには、英語学習を日々の習慣に落とし込む必要があります。好きとか嫌いとか、暇とか忙しいとか、そんな段階ではなく、毎日歯を磨くのが当たり前のように、「英語をするのが当たり前」という「習慣行動」にしてしまう事です。学習ルールは親子で決め、あとは過度な干渉をせず、関心を持って学習を見守る事が大切です。「勉強しなさい！」は NG です。勉強と思わせないよう英語を取り入れるのがコツです。

また、習慣と同じように英語学習に欠かさないのが「意欲」です。子供が自発的に勉強をするようになるのは、親子が家庭内で英語学習に対する「意欲」を共有する事が大切です。英語は将来大事よ、英語ができないといい学校に入れないわよ、とついつい言いたくなりますが、こういう言葉はあまり子供には響きません。子供だけに意欲を求めても無理です。英語の面白さ、英語が分かる興奮、上達する喜びなど、これらの体験を教えるのではなく「共有」する事によって、子供の意欲が芽生えてきます。

- 親が自分のやっていることに興味を持ってきている
- 親が自分のやっていることをほめてくれた
- 親が自分と一緒にこの問題を解こうとしている

子供が学んでいる内容を面白がって興味を持ち、一緒に「その時間を共有」できるようになれば「無敵」です！こんな環境だったら学習意欲がわき出てくるのではないのでしょうか？もちろん「意欲」といっても長続きしない場合もよくあるかと思いますが、それでも OK です。「習慣」と一緒に進めていけばいいのです。昨日より、一週間前より、単語を覚えたり、読めたりできるようになったら大成功！その「できた」事をいちいち「言葉」にして「反応」として残しておくのです。このように、子供にとって非常に大切な「学ぶ意欲」が親と共有できるのは、自宅ですべきでない学習法だと思います。

英語を覚える度に、英語を発音する度に、お父さん、お母さんが驚いてくれる！喜んでくれる！こうした日々の小さな成功体験の積み重ねが、英語学習を継続する為のエネルギー源となってくるのではないのでしょうか。

## ARK ACADEMY'S Mission Statement

～アークアカデミーミッション～

To Love and Serve Our Community  
By Sharing Our Lives and Education

今月の  
Happy Birthday



# 英検対策講座のお知らせ

アークアカデミーは英検準会場として、第 2 回英検一次試験を 10 月 6 日（日）に実施いたします。それに伴い今年も英検対策講座を開講いたします。対象は英検 3 級～5 級の受験希望者で、期間は 8 月（5 級）～9 月（4 級・3 級）に行う予定です。担当は英検指導歴の長い育子先生です。2 次試験はすべて本会場のみとなりますので、3 級～1 級の受験を希望の方は、日程・会場場所などご注意ください。

●日程：詳細が決まり次第別紙にてお知らせしますが、曜日は木曜日か金曜日のいずれかとなります。

●費用：5 級： 3000 円/3 回講座 + 教材費  
4 級： 3500 円/4 回講座 + 教材費  
3 級： 4000 円/4 回講座 + 教材費

（※料金は税抜き価格です。）

詳細が決まり次第別紙にてご案内させていただきますが、興味のある方はお声がけください。特に英検 3 級の受験を希望の方はお早目にご相談下さい。

# ワードリストを作成しました

キッズ①とキッズ①+のレベルを対象にワードリスト（暗記する単語のリスト）を作成しました。

「書く・読む」作業は反復練習が大切。でも 50 分の限られた時間内では、「話す・聞く」が中心となるので、「読む・書く」作業は家庭で反復練習が重要となってきます。「読める」事で飛躍的にお子さんの英語の理解力は伸びますし、「書ける」事は英語学習への自信につながってきます。

でも何から練習していいかわからない、という保護者様のお声にお応えし、教科書に頻繁に出てくる単語やフレーズのリストを作成しました。

このワードリストの目的は、1 週間に 1 語（キッズ①）、もしくは 1 フレーズ（キッズ①+以上）を読める・書けるようになる事です。読む・書く作業は初めは大変だと思いますが、これらの単語やフレーズが読める・書けるようになる事で、これからの英語学習がぐっと楽になりますし、教科書に書かれている英語が読める事で、理解力も伸びます。

従来の宿題の他に別の教材が加わり大変かとは思いますが、ぜひチャレンジしてみてください。また、キッズ①、キッズ①+の受講者以外でも、自宅で読み書きの反復練習をしたい方はリストを差し上げますので、お声がけください。